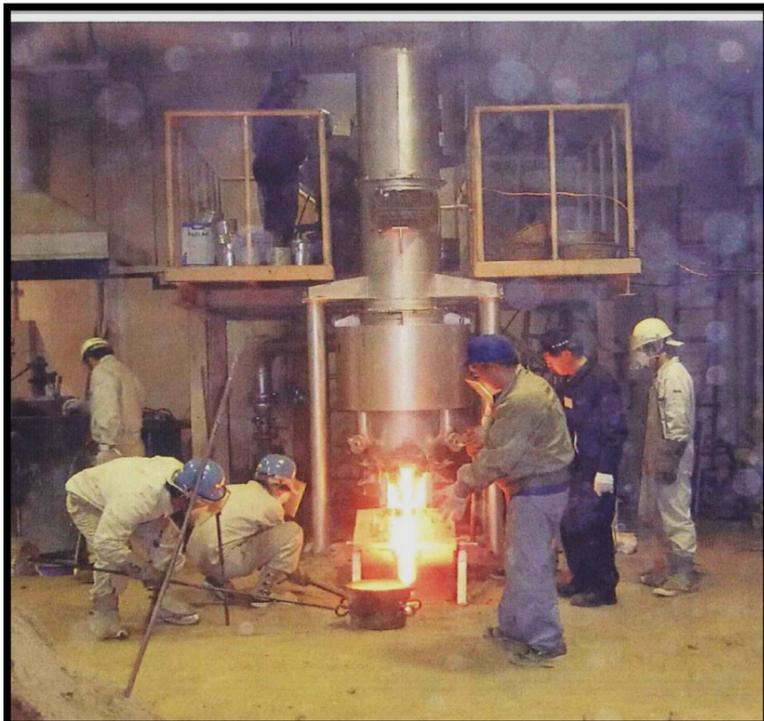


小型実験実習用キュポラ

小型の実験・実習用キュポラは、生産工場で採用されているものと根本的に変わりませんが、小型（炉径が小さくなる）になるに従い熱効率が悪くなります。弊社はその点に配慮し「高温溶解の原則」と「連続出湯方式」を特徴としています。

特 徴

- 豊富な技術からなる高温溶解
- 豊富な技術からなる連続出湯方式
- 豊富な技術からなる適切な技術指導
- 豊富な技術からなる安全な操業指導



日 刊 工 業 新 聞

2011年(平成23年)2月16日 水曜日

キューポラで鑄鉄実習



大阪市立都島工業高校と大阪工業大学の生徒、学生が鑄鉄溶解の実習に取り組む「相互研修会」が、大阪市都島区の都島工高で開かれた。両校が2010年12月に結んだ高大連携協定の一環で、三共合金鑄造所（大阪市西淀川区）やナニワ炉機研究所（大阪府東大阪市）をはじめとする地

都島工高・大阪工大 地元企業も参加

元企業なども参加した。研修会では都島工高で04年まで使っていたキューポラを7年ぶりに使用。両校の生徒、学生は指導を受けながらキューポラで溶かした鉄を鑄型に流し込んだり、温度を計測する作業などを行った（写真）。実習の後、参加した企業、学校関係者が今回の研修会について意見交換した。都島工高の小松賢治教諭は「こういうことがモノづくりだと分かってもらえると嬉しい（実習を）やっている」、大阪工大の羽賀俊雄教授は「高大産学（学会）による新しい連携を模索している。うまくリンクしてモノづくりの底上げにつながればと話した。」